

「神戸大学ホノルル拠点」の開設について

神戸大学国際担当理事・副学長
井上 典之

神戸大学は、アメリカ合衆国をはじめとした米州における教育・研究等の交流および活動拠点として、2016年6月30日に富士通 JAIMS 構内に神戸大学ホノルル拠点を開設した。本拠点は、2008年中国・北京に開所した中国事務所、2010年にベルギー・ブリュッセルに開所したブリュッセルオフィス、2015年4月にベトナム・ハノイに開所したハノイ神戸大学連絡拠点、そして2015年11月にポーランド・クラクフに開所したポーランド拠点(クラクフ)、2016年4月に中国・北京に開所した神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点に続く、本学6番目の海外拠点であり、米州における初の拠点となる。

1) 神戸大学ホノルル拠点概要

名称：神戸大学ホノルル拠点(英語名称：Honolulu Office of Kobe University (HOKU))

場所：JAIMS (Japan-America Institute of Management Science)

6660 Hawaii Kai Drive, Honolulu, Hawaii, 96825

運営体制：①神戸大学関係者が利用する場合は無償で利用可能

②富士通が現地に開設した JAIMS(日米経営学研究所)の一室にあるため、同研究所のセミナー室やコピー機の借用手続も日本語で可能

③職員の常駐なし

2) 開所の経緯・拠点の活動

本学にはハワイ大学との継続的な交流を行っている研究科が複数あること、北米だけでなく環太平洋の国々から研究者が直行便あるいは少ない乗継で国際研究集会に出席できるアクセスの良さを考慮し、北米及び環太平洋地域との交流拡大を目的としてホノルルに拠点を開設するに至った。

開所にあわせて、神戸大学ホノルル拠点開設記念シンポジウムを開催し、ハワイ大学マノア校と既存の交流分野である、応用計量経済学、素粒子物理学に関する2つのセッションに分かれて、ハワイ大学マノア校及び環太平洋地域の大学の研究者を招き、研究成果の発表を行った。

20名程度収容可能な会議室を擁しているため、今後はワークショップ等を定期的に開催していく予定である。また、拠点を活用し、学生向け短期プログラムの開発・実施を行うことも計画している。

3) 米州との神戸大学の国際交流活動

神戸大学では2013年7月1日に神戸大学国際交流推進機構(現国際連携推進機構内)に、米州交流室を設置し、北米をEU、アジアとともに重点地域と定め、共同研究の創出と学生派遣先の拡充を目指してきた。2014年3月には、国際産学連携創出を目的に、アメリカ合衆国の9大学から研究者を招聘し、日米連携フェアを開催した。その結果、2校(UCサンディエゴ校及び南カリフォルニア大学)と協定を締結している。米州は研究者間での共同研究がもっとも盛んに行われている地域であり、拠点開所を契機に、協力強化を米州地域においても推進していく予定である。

神戸大学ホノルル拠点(HOKU)除幕式・開所記念シンポジウム

